

ソニー生命カップ 第43回全国レディーステニス大会 全国決勝大会

日時：2021年11月11日～13日

会場：東京都昭島市 昭和の森テニスセンター

結果：2 R VS長野県 1-2

No.1 0-2 (2 6・3 6)

No.2 2-1 (4 6・6 1・10-4)

No.3 0-2 (3 6・3 6)



全国決勝大会の結果は「jltf」よりご覧ください。



《代表選手コメント》

No.1ペア

技術の差を痛感し、今後の課題が明確に。ですが、全国でも楽しんでプレー出来たのは自信にもなりました。また、チームの皆さんの優しさにとっても救われ、支えてくれる人達や、ペアに感謝の気持ちを再認識できた大会でした。ありがとうございました。初出場の全レは得るものが多く、私の意識を大きく変えるものとなりました。またいつか戻って戦えるように。今から燃えております。

富山 さやか

「今できるテニスを精一杯やるだけ」の一心で臨んだ県予選と全国大会でしたが、気持ちは同じだったはずなのに、こんなにもプレーに差が出るのか、と、悲しくなるほど何も出来ずに終わってしまった全国大会でした。両大会に向けて沢山の方々から頂いたご指導と応援、そして今回の悔しさを決して忘れず、また次回、挑戦したいと思います。

豊田 由実子

No.2 ペア

〈全レって青春？〉

全レっていいな！ 団体戦っていいな！

女ダブっていいな！

主婦になりテニスに出会い青春を味わえる全レに参加でき多くのことを学びました。厚い壁にぶち当たり課題をつきつけられ、へこみながらも又挑戦したくなる。そんな大会でした。その度にペアに助けられ仲間に励まされ、コーチ・スタッフにサポートしていただきました事、感謝しかありません。本当にありがとうございました。

今野 奈美子

〈コロナ禍の全国レディース〉

昨年、全国大会への出場がコロナで辞退となり、今年こそ絶対に今野さんと全国に行きたい!!と、挑んだレディースでした。全国は初戦敗退でしたが、今後につながる貴重な経験が出来ました。いつかまた全国大会に行けるように、日々練習したいと思います。応援してくださった皆様、コーチ、星山監督、メンバー。そして、どんな時でも笑顔でリードしてくれた今野さん。本当にありがとうございました。

小川 史絵

No.3 ペア

〈いざ～昭和の森へ〉

震災から10年。このタイミングで舞い込んできた全レへの切符。勢いだけじゃない確かな実力を！と、励んできた日々～それが報われた瞬間でした。そして迎えた本番、秘密兵器？として挑戦するも善戦虚しく…。でも親睦試合含め貴重な体験をさせて頂きました。これまで私に関わってくれた全ての人に感謝申し上げます。

阿部 まゆみ

〈初めての全国大会〉

初めて出場した全国大会。お天気に恵まれ雲一つ無い青空の下での試合となりました。コロナ禍の為、無観客の開催でしたが、45都道府県のチームと多くのスタッフの方々の協力があり活気ある大会だったと思います。試合は健闘しましたが初戦敗退となってしまい、悔しさはありながら他県のプレーを見て、自分に足りない事は何かを考えました。それを今後のプレーに活かし、レベルアップ出来るよう練習に励みたいと思います。

星山監督、女子連スタッフの皆様、コーチの方々には大変にお世話になりました。感謝の気持ちでいっぱいです。皆様、応援ありがとうございました。

根本 真弓

《監督コメント》

星山 笑惟子

前はコロナ禍のため、宮城県は不参加となり大変残念でしたが、今年度は百戦錬磨のキャプテンに若い選手が加わりフレッシュな顔ぶれとなりました。全国大会に向けて練習会を重ねる中でチームワークが強くなり、選手の士気が高まりより良いコンディションで大会に向かいました。結果は初戦で惜敗しましたが、来年への期待が高まる大会でした。